

遺伝子・染色体構築研究分野セミナー

New Way to Relieve Replication Stress Through Epigenetic Enzyme Complex

Takayuki Hoshii, Ph.D.

**Department of Pediatric Oncology
Dana-Farber Cancer Institute, USA**

【日時】平成28年12月16日(金) 17:00～18:30

【場所】がん進展制御研究所 4F 会議室

近年、エピジェネティクス制御因子を標的とした薬剤が盛んに開発され、抗がん剤としても注目されています。星居孝之博士は、当研究所(遺伝子・染色体構築研究分野)の後、米国 **Scott Armstrong** 研究室(メモリアルスローンケタリングがん研究所, ダナファーバーがん研究所)において、急性骨髄性白血病の細胞・マウスモデルをベースに、エピジェネティクス制御因子の機能解析と新たな治療標的の同定を目的に研究を行っています。今回は、shRNA/sgRNAを利用した機能解析から見出した、ヒストン修飾因子の新たな機能について紹介していただきます。また、ニューヨークとボストンでの経験を踏まえ、留学体験についてもお話しいただくことになっています。奮ってご参加ください。

連絡先： 平尾 敦

(がん進展制御研究所 遺伝子・染色体研究分野 : 内線6756)